

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

維持管理業務

運營業務

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立【宮古】青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	所長・職員にて館内、屋外植栽等の清掃美化を実施。	現地確認	適正	現地確認により適切に実施されていた
〈定期清掃〉	・全体清掃(毎週火曜日実施) ・塵芥収集(週2回)	実績報告書及び現地確認	適正	実績報告書及び現地確認により適切に実施されていた

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	毎月1回	実績報告書等により確認	適正	実績報告書等により、適切に処理されていた
消防設備保守点検	年2回実施:平成27年8月3日、28年1月12日	消防点検報告書等により確認	適正	実績報告書等により、適切に処理されていた
簡易水道設備点検	・受水槽清掃消毒業務 年1回 ・高架水槽清掃消毒業務 年1回 ・水質検査業務 年48回 ・貯水槽・給水設備点検 年12回	実績報告書等により確認	適正	実績報告書等により、適切に処理されていた
ボイラー設備保守点検	年3回 内1回は分解整備	実績報告書等により確認	適正	実績報告書等により、適切に処理されていた
昇降機設備保守点検		実績報告書等により確認	適正	実績報告書等により、適切に処理されていた

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	職員退勤後から翌朝出勤時までは機械警備。宿泊者がいる場合は、職員と夜間警備員(警備会社)で保安警備。	警備日誌、契約書等により確認	適正	今後も安全管理を徹底すること

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	計22件 1,734,332円 研修室アルミドア、点字ブロック、食堂厨房タイル他	修繕箇所報告、修繕一覧表、支出簿等により確認	適正	今後も計画的な修繕に努めること

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 1,100千円	計8件 1,125千円 シーカヤック2艇、大型インクジェットプリンター、チェーンソー他	納品書、支出簿等で確認	適正	今後も計画的な備品購入に努めること

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	20,934	21,805	104%	概ね計画通りの実績となっている。
	利用者延べ数	24,409	24,383	100%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		344	332	97%	全体的に計画通りとなっているが、学校教育関係の利用状況の原因も追究して欲しい。
利用日数		343	330	96%	
利用率		99.7%	99.4%	100%	
利用延べ人数		24,409	24,383	100%	
	学校教育	6,103	4,218	69%	
	社会教育	8,157	10,608	130%	
	その他	10,149	9,557	94%	
施設別利用		6,233	8,296	133%	施設の利用度も概ね計画通りだが、キャンプ場の利用についても追究して欲しい。
	宿泊室	1,604	2,244	140%	
	研修室	2,397	2,744	114%	
	体育館 (プレイホール)	1,693	2,974	176%	
	キャンプ場	539	334	62%	
	その他	0	0	-	

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
「大野山林自然散策」	平成27年4月25日	親子・一般	30	36	120%	計画を上回る実績である。
「春のファミリーキャンプ」	平成27年5月4日～5日	親子	45	53	118%	計画を上回る実績である。
「第34回野外活動少年団 第1次～5次」	平成27年5月16日・17日～7月18・19日	小学生 (4年～6年生)	150	71	47%	参加実績人数は高くなっているが、開催数によるもの
「大野山林にきたえる少年の集い」	平成27年7月22日～26日	小学生 (4年～6年生)	30	29	97%	ほぼ計画通りの実績となっている。
「夏の星座観察会」	平成27年8月12日	親子15組	30	43	143%	計画を上回る実績である。
「秋の星座観察」	10月23日	親子	30	20	67%	広報周知に工夫が必要
「大野山林通学合宿」	11月8日～12日	小学生 (4年～6年生)	30	29	97%	ほぼ計画通りの実績となっている。
「ジュニアサイクリングキャンプ」	11月27日～28日	小学生 (4年～6年生)	15	15	100%	ほぼ計画通りの実績となっている。
「第33回 青少年の家まつり」	平成28年3月6日	親子・一般	制限なし	880	-	ほぼ計画通りの実績となっている。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
第3回 ふしぎな・ポケット」	平成27年4月18日	小学生親子・中学生	90	58	64%	広報周知に工夫が必要
「大野山林自然クラブ」	平成27年5月10日～8月23日 8回シリーズ	親子10組 (20名)	120	88	73%	ほぼ計画通りの実績となっている。
「畑で匂を体感しよう」	平成27年5月31日	親子15組 (45名) × 9回	405	245	60%	開催時期を検討する必要がある。
「親子海浜活動 I」	平成27年8月2日	親子	30	21	70%	ほぼ計画通りの実績となっている。
「大野山林夜の散策」	平成27年9月25日	親子・一般	20	26	130%	計画を上回る実績である。

「第5回 琉大塾」	平成27年10月10日～11日	中学生・高校生	30	18	60%	開催時期を検討する必要がある。
「子供体験遊びリンピック」	平成27年10月18日	親子・一般	制限なし	159	-	広報周知に工夫が必要
「第1回みゃ〜く塾」	平成27年11月23日	親子・一般	30	20	67%	広報周知に工夫が必要
「第2回みゃ〜く塾」	平成27年12月13日	親子・一般	30	42	140%	計画を上回る実績である。
「冬のファミリーキャンプ」	平成28年1月9日～10日	親子	45	45	100%	計画通りの実績となっている。

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務	施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日を「安全管理日」・「定例清掃日」と設定し、安全性、環境衛生に務めている。 ・空調等の老朽化に伴う故障等については早急に対応し、取替については県との調整により順次対応している。 	今後も施設整備に関しては、県と連携し改善されるよう努めること。特に安全性に関わることは、早急に検討すること。
運営業務	職員の対応について（マナー、施設の利用方法の説明等）について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用日、行事開催日には全職員で「安全委員会」を開き施設設備の安全性の再点検、天候等の共通認識を図り事業執行にあたっている。 ・利用者アンケート、直接要望等をもとに職員の対応、マナー向上に努めている。 	これからも利用者の声を運営に反映できるよう努めて欲しい。
運営業務	施設設備について（宿泊室、体育館・プレイホール、研修室等）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設点検（屋内、屋外）を週1回行い宿泊室、研修室等は換気にきを配り必要によっては消臭剤の活用もしている。 ・施設の老朽化による 	今後も施設整備に関しては、県と連携し改善されるよう努めること。特に安全性に関わることは、早急に検討すること。

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析										
運営業務	<p>・キャンプの集いが楽しくて知らない人同士でもとても楽しく出来ました。</p> <p>・子供が青少年の家まつり好きで色々体験させていただきありがとうございました。</p> <p>・食べられる野草についての事業もしてほしい。</p> <p>-----</p> <p>アンケート回答488件</p> <table border="0"> <tr><td>(1) とても良かった</td><td>79.1%</td></tr> <tr><td>(2) 良い</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>(3) 普通</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>(4) 悪い</td><td>0%</td></tr> <tr><td>(5) 無回答</td><td>0%</td></tr> </table>	(1) とても良かった	79.1%	(2) 良い	19.6%	(3) 普通	1.3%	(4) 悪い	0%	(5) 無回答	0%	<p>・主催事業、自主事業各事業の安全衛生面を重視し常時看護師を配置している。</p> <p>・利用者のニーズを的確に捉え新規事業、特色有る事業を開催することにより利用者、参加者の層を広げた。</p>	<p>利用者のアンケート等により事業の改善を見だし、これからも魅力ある事業として欲しい。</p>
(1) とても良かった	79.1%												
(2) 良い	19.6%												
(3) 普通	1.3%												
(4) 悪い	0%												
(5) 無回答	0%												
総合評価	<p>・利用者アンケート結果から「とても良かった・良かった」が各事業とも90%以上を占めている。</p> <p>・職員の対応も良く出来ている。</p> <p>アンケート結果 回答552件</p> <table border="0"> <tr><td>(1) とても良かった</td><td>73.7%</td></tr> <tr><td>(2) よかった</td><td>17.7%</td></tr> <tr><td>(3) 普通</td><td>8.1%</td></tr> <tr><td>(4) 悪い</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>(5) 無回答</td><td>0.5%</td></tr> </table>	(1) とても良かった	73.7%	(2) よかった	17.7%	(3) 普通	8.1%	(4) 悪い	0.1%	(5) 無回答	0.5%	<p>利用者への安全、衛生面に気を配り実施できた。</p> <p>・利用者とのコミュニケーションを図りニーズに応える様に職員間で取り組むことが出来た。</p>	<p>全体的に良好な結果となっており、これからも職員間の連携の上にサービスの向上があると思うので継続的な体制作りを行って欲しい。</p>
(1) とても良かった	73.7%												
(2) よかった	17.7%												
(3) 普通	8.1%												
(4) 悪い	0.1%												
(5) 無回答	0.5%												

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	507	595	117%	
	宿泊室	424	469	111%	
	キャンプ場	11	6	55%	
	研修室及び訓練室	30	35	117%	
	プレイホール	42	85	202%	
指定管理料		36,392	36,392	100%	
主催事業		99	131	132%	
自主事業		22	42	191%	
その他事業収入(薪代等)		474	414	87%	
その他収入(自販機電気料等)		22	77	350%	
合計(A)		37,516	37,651	100%	
〈業務改善に向けた分析〉					
収入合計は、ほぼ計画通りとなっている。今後も計画に沿って事業を推進していくこと。					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		23,930	23,125	97%	減の理由：夏、冬賞与減
報償費		255	248	97%	
旅費		271	365	135%	
需用費		4,367	4,591	105%	
	消耗品費	830	897	108%	
	燃料費	179	166	93%	
	印刷製本費	56	30	54%	
	光熱水費	2,018	1,764	87%	
	修繕料	1,284	1,734	135%	
役務費		813	760	93%	
	通信運搬費	184	194	105%	
	手数料	435	296	68%	
	損害賠償保険料・広告料	22	0	0%	
	火災保険料	105	211	201%	
	自動車保険料	67	59	88%	
委託料		2,986	3,297	110%	
使用料及び賃借料		346	346	100%	
備品購入費		710	1,125	158%	
負担金		22	18	82%	
公課費		0	834	-	
合計		33,700	34,709	103%	
〈業務改善に向けた分析〉					
支出は対計画比103%であり実数値は+1,009千円である。備品購入や修繕等費用も指定管理料には含まれていることを引き続き指導し、適切かつ計画的な予算執行に努めさせる。					

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))(単位:千円)	3,816	2,942	77%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	2%	2%	114%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	71%	67%	94%	
人件費比率 (人件費/収入(A))	64%	61%	96%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	9%	9%	107%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/収入(A))	8%	9%	110%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)/利用者数)(単位:円)	1,381	1,423	103%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料/利用者数)(単位:円)	1,491	1,493	100%	
〈業務改善に向けた分析〉				
事業収支が計画比77%となっているが、収支は黒字であり、今年度は積極的な備品購入を行ってくれた結果であると捉えている。また、利用料金比率は2%となっており、6施設中最も低い。今後、利用者増により収入増加が図れるよう指導助言をしていく。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。